

大人への第一歩 成人おめでとう

いざいませ

一月十四日成人の日、今年玖珠町では二五〇名の方が大人の仲間入りをしました。
二十一世紀を担う新成人の皆さん、おめでとうございませ。玖珠地区で成人を迎えた森綾香さんに「二十歳になった抱負」の投稿をいただきました。



中山田 森 綾香さん

この二十年間、私はいろんな事にチャレンジさせてくれた両親には本当に感謝しています。

時には苦しいこともありましたが、それを乗り越えられたのも家族や友人、周りの方の支えがあったからです。

今年成人を迎え、大人への第一歩をふみ出しました。社会に出るとたくさんの方

との出会いがあり、いろんなことを学んでいけるとおもいます。そういう出会いを大切にして、自分に責任を持ち社会に貢献できる人間になっていきたいです。
年が経つにつれて、目標を持つというのを忘れてしまふと思ひます。だから私はいくつになつても目標を持ち続け、これから先もいろんな事に挑戦していきたいです。



大きく燃え上がる炎に無病息災を祈念して

一月の十二日から十四日にかけて、玖珠地区の各地区で「どんど焼き」が開催されました。

「どんど焼き」とは、小正月に行われる火祭りです。正月に使った門松やしめ縄、しめ飾り、神札などを持ち寄つて焼き、その火に当たつたり、餅を焼いて食べたりして、無病

無病息災を祈念して 今年も各地域で「どんど焼き」

息災を願う日本の伝統的な行事です。
昨年からは十年ぶりに復活した塚脇のどんど焼きでは、年末から「やぐら建て」などの準備にとりかかれました。

当日は約百五十名の参加があり、実行委員会で用意されたぜんざいや豚汁・かつぼ酒等で寒さも忘れ、燃え上がる炎に今年一年の無病息災を願いました。

玖珠地区では、金栗院・元組下・中島・長野・塚脇・寺村・下横尾・笹ヶ原・瀬戸口・中山田・引治・花香でどんど焼きが行われました。

おひなまつり

2月3日は節分です。「節分」は本来、季節の変わる時の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日をさしていました。特に立春が1年の初めと考えられることから次第に、「節分」といえば春の節分を示すものとなりました。立春を新年と考えれば、節分は大晦日にあたり、前年の邪気を祓うという意味をこめて、追儺(ついな)の行事が行われるようになったわけで、そのひとつが豆まきです。

一般的に、豆まきは年男、または一家の主人が煎った大豆をまき、家族は自分の年の数だけ豆を食べると、その年は病気になるはず長生きすると言われます。

